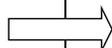


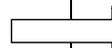
# 標準水圧試験要領書（水圧テスト手順）

作業フロー

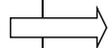
試験区分・圧力の設定



作業準備



注水



試験終了確認  
テスト水処理

内容

## 【テスト区分】

- ・ 施工状況の把握  
施工状況により水圧テスト区分を計画する
- ※テスト区分間で試験未実施が発生しないよう計画する。

## 【テスト水】

- ・ テスト水は、原則水道水（飲料水）とする。

## 【試験圧力・合否判定】

- ・ 試験圧力、最小保持時間、判定値を決める。

## 【テスト用具の整備】

- ・ 水圧試験水張りポンプ（テストポンプ）
- ・ ポンプ設置可能場所にてテストポンプを設置。  
※トラブルにより水が漏れても影響が少ない場所を選定する。

## 【圧力試験器】

- ・ 試験器は校正証明書付もしくは校正証明書付きの圧力計等を用いて校正したものを用意する。



※試験対象のエア抜きを行う

## 【管末確認】

- ・ 試験対象の管末処理が確実に実施されているか確認する。

## 【管内注水加压】

- ・ 圧力試験器を試験配管に接続し、電源をONにする。
- ・ テストポンプにて管内にテスト水を注水。  
  
(用途により圧力変更)
- ・ 圧力試験器の圧力表示を見ながら試験圧力まで加压する。
- ・ 注水中（加压中）に圧力の急変動が無いか確認する。※試験圧力まで上昇した後、5分程度目視確認する。
- ・ 試験対象のエア抜きを実施し、管内圧力変動が落ち着くことを確認する
- ・ 圧力試験器接続部の漏れがないか確認する。
- ・ 圧力が安定しない場合は、再度管内のセンター付近のエア抜きを行う。
- ・ 圧力試験器の試験条件を確認して試験器のスタートボタンを押し、試験開始。

※試験圧力、試験時間、判定値を確認して下さい。

## 【試験終了確認】

- ・ 試験最小保持時間経過後、試験器の試験終了時表示を確認する。  
※表示は自動でオフになっているので電源鈕を押しオンにする事が必要。  
  
⇒試験結果が「NG」の場合  
設定した判定基準を下回っている為、再試験が必要。  
⇒試験結果が「OK」の場合  
目視・触手にて試験対象配管から漏れない事を確認する。  
⇒「漏れ無し」の場合  
試験データを収集する。  
⇒「漏れ有り」の場合  
漏水箇所の手直しをおこなう。  
⇒再試験

## 【試験終了後テスト水処理】

- ・ 試験終了後テスト水を放流する場合は、放流先確認後放流する。

## 【データ収集】

- ・ 水圧試験にOKの表示があり、目視・触手によって漏れが無いことを確認し bluetooth 機能を用いてiPad or iPhone に圧力試験器のデータを送信することで  
施工状況の把握データ収集を行う



# 標準水圧試験要領書(器具取付後水圧テスト手順)

作業フロー	試験区分・圧力の設定	作業準備	注水	試験終了確認 テスト水処理
内容	<p><b>【器具設置エリアの確認】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施工状況の把握</li> </ul> <p>器具取付状況により、水圧テスト区分を計画する。</p> <p><b>【器具取付後・試運転調整前】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>配管完了、器具取付完了後、系統一括にて器具取付後の漏れ無し確認試験を実施する。</li> </ul> <p><b>【試験圧力・合否判定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>試験圧力、最小保持時間、判定値を決める。</li> </ul>	<p><b>【管末確認】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>配管末端処理の確認</li> </ul> <p>末端には器具が設置されているものとするが、未設置箇所がある場合は、仮で末端を閉止する。 ⇒止水プラグやキャップにて閉栓する。</p> <p><b>【圧力試験器】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>試験器は校正証明書付もしくは校正証明書付きの圧力計等を用いて校正したものを用意する。</li> </ul> <div data-bbox="719 1091 920 1321" data-label="Image"> </div> <p>※試験対象のエア抜きを行う</p>	<p><b>【管内注水(加圧)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>器具取付後は圧力を掛けるが、器具により条件が異なるので注意して下さい。</li> <li>圧力試験器を試験配管に接続し、電源をONにする。</li> <li>テストポンプにて管内にテスト水を注水。 (用途により圧力変更)</li> <li>圧力試験器の圧力表示を見ながら試験圧力まで加圧する。</li> <li>試験対象のエア抜きを実施し、管内圧力変動が落ち着くことを確認する</li> <li>圧力試験器接続部の漏れが無いか確認する。</li> <li>圧力試験器の試験条件を確認して試験器のスタートボタンを押し、試験開始。</li> </ul> <p>※試験圧力、試験時間、判定値を確認して下さい。</p>	<p><b>【試験終了確認】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>試験最小保持時間経過後、試験器の試験終了時表示を確認する。 ※表示は自動でオフになっているので電源鈕を押してオンにする事が必要。</li> </ul> <p>目視・触手にて試験対象配管から漏れない事を確認する。</p> <p><b>【合否判定基準】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保持時間経過後、目視又は触手にて器具接続部廻りで漏れが無いこと。</li> <li>試験水圧加圧部は、試験終了後復旧し、常圧で漏れの無いことを必ず確認</li> <li>器具接続部のバルブは、試験圧力加圧不可器具以外は「開」にして試験する。</li> <li>試験完了後、試験水の残りが無いよう器具より充分通水を行う。(特に上水系統)</li> </ul> <p><b>【試験データの収集】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水圧試験にOKの表示があり、目視・触手によって漏れが無いことを確認 bluetooth 機能を用いてiPad or iPhone に圧力試験器のデータを送信することでデータ収集を行う</li> </ul> <div data-bbox="1816 1382 2047 1554" data-label="Image"> </div>